

常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。
- ・委員会記録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

総務委員会

多言語翻訳機について

Q 現在、市の窓口ではタブレット端末を利用した通訳サービスを導入しており、今回クラウド上でAIが解析を行う多言語翻訳機を導入することだが、この2つの使い分けはどうか。

A 現在行っている通訳サービスは、タブレット画面上でオペレーターと直接通話することにより、微妙なニュアンスなど身振り手振りで伝えることができるといったメリットがあります。一方、多言語翻訳機は、対応している言語も豊富であり、窓口だけではなく、学校や保育園の保護者面談などでも活用でき、通訳サービスと比較すると費用は安価であるといったメリットもあるので、両サービスを併用しながら使い分けてまいります。

公共施設等総合管理計画について

意見 この事業により、施設の建て替えや統廃合となることもあるが、市民の声を聞き、その必要性を検討してほしいとの意見があった。

経済教育委員会

不燃ごみ・粗大ごみの処理について

Q 令和元年12月補正で、不燃ごみ及び粗大ごみを他市の処理施設に持ち込んで処理する不燃物収集処理手数料が計上されたが、3月補正予算において処理手数料が大幅な減額になっているのはなぜか。

A 12月補正では、他市の処理施設での処理費用を参考に、不燃物収集処理手数料を計上しました。しかし、持ち込み可能と考えていた民間処理施設は、令和元年夏の水害による長野県の災害ごみを受け入れているため、本市のごみの受け入れについて了解が得られず、別の民間処理施設へ持ち込まざるを得ませんでした。

そのような中で、移動式破砕機を使用したほうが、他市の処理施設への持ち込みよりも費用が安価であり、しかも処理能力も被災前のリサイクルセンターと同等であることから、同施設が復旧する令和3年3月末まで、移動式破砕機による処理に変更したためです。

福祉健康委員会

福祉バス運行事業について

Q 福祉バスの公用使用が集中する時期に利用していた借り上げバスを廃止することだが、利用者への影響はないのか。

A それぞれのバスの稼働率と、福祉バスの公用使用について精査することで、利用者への影響が出ないように運行できると考えています。

医療的ケア児保育モデル事業について

Q 医療的ケアは、保育士によって行われず、看護師のみでの対応となるのか。

A 保育士も一定の研修を受けることで特定の医療的ケアを行うことはできますが、それ以外にも様々なケアがあることから専門の看護師によって行われることが望ましいと考えています。

賛否の分かれた議案について

意見 議案第1号、2号、3号、10号、27号については反対であるとの意見があった。

建設水道委員会

福塚線・今伊勢北方線道路改築事業について

Q 未取得の土地について、令和2年度内に全ての用地購入が完了するのか。

A 9月末までに引き渡しを受けられるよう、用地交渉をすすめてまいります。

Q 未取得の土地は、道路を通行する際に支障がある場所なのか。

A 車の通行に支障がない場所なので、車道においては予定どおり供用開始できます。

大和幹線雨水管布設工事について

Q 令和元年度からの継続費の事業だが、令和2年度はどのようなことを行うのか。

A 梅ヶ枝公園にトンネル工事のための発進立坑の築造と、トンネル掘削に使用するシールド掘削機の製作を予定しています。

Q 工事場所は非常に混む道路だが、交通に対する影響はどう考えているのか。

A 発進立坑を設ける場所は、公園内の一部になるので、車道を長期間にわたって占有することはありません。